常磐毎日
発行所
平市田町75
常磐毎日新聞社
電(代表)2104番
2105番

## 聴聞会終る、公営バスに有利か
# 六ヵ月内に公聴会
## 陸運局は申請内容認む

平市を中心とする石城五市が交通の便を一層かん和するため計画、経営免許の申請をしている五市公営バスの聴聞会が十六、十七の両日仙台陸運局で開かれた。聴聞会では「常磐交通との不当競争はない」との言い分と申請内容陸運局に認められて六カ月以内に公聴会が開かれるという明るい見通しがついた。

組合聴聞会には組合側から五市長陸運局から木村局長、住田自動車部長、日野旅客課長、渡辺旅客第二係長らが出席、申請理由をはじめ収与見積り、資本構成、需要供給など細部にわたる実情がただされた。なかでも支出面について質問が出なかつたが、収入と需要供給、労務管理、起債の償還元金などについて細かい質問がありいずれも組合側の説明で了承された。また計画書の列車と連絡し、深夜運行をするということと既設会社である常磐交通との見解につき組合側の「不当競争ではなく共存共営の立場で申請した」という言い分に好感がもたれたという。この結果早急に運輸省審議会に陸運局の見解を通達するというところまでこぎつけたので、公聴会は遅くとも六カ月以内に開催される見通しが強くなつた。

また起債償還については当初資本金八千五百万円のうち四千万円が起債となり、利益金のうち年間九百五十万円で五カ年間で償却するものである。この聴聞会は申請後約一年半ぶりに開かれたものであるが、事業計画によるとバス三十三両で弁浜循環線、勿来線、川平線、高野線、好間線、小川循環線、四倉線、夏井線、小名浜線、勿来市内循環線の十系統、千九百七キロを一日百七回運行する。また営業所は平、磐城、勿来、四倉の四カ所に設置される。

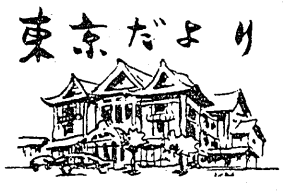
## 24時間ストに突入
### 古河好間労組の第三波

七百人の人員整理をめぐつて斗争中の古河好間炭鉱労組ではきょう十九日一番方から第三波二十四時間ストに突入した。これは去る十日について二回目のもので、組合員や家族たちは組合事務所前に集まり、東京で開かれている炭労定期大会の成り行きを見守つている。このストにより第一波から第三波までに約五千トンの減産となる。

### 泉小P会で前会長表彰

磐城市泉小学校PTA会ではこのほど前会長室屋金次郎氏(四三)を表彰した。室屋氏はPTA副会長、会長を四年間にわたりつとめあげ、この間同校の運動設備や理化学教材の設備、観賞池の設備のほか児童の水難予防策として釜土川に水泳場の設備などの功績をたたえたもの。

## 東京だより



### 水害のシーズン
城山山人

例年の通り洪水シーズンがやつて来た。またぞろ台風の被害が新聞紙上をにぎやかにすることであろう。いかに近代化された現社会であつても、自然の猛威に対してはどうすることも出来ないようである。特にわが国が、台風シーズンの中心とするのが、いつもの気象配置とあるからますますいけない。地球の回転が狂つて気圧がどうかしない限りは、いつまでもわが国は例年の通り台風から離れることが出来ないだろう。

それにしても、台風の来ることを予想し、被害を最小限度にするための方法が講じられなければなるまい。建設省は各府県に対して防衛対策を樹立せよとの通知を出したから、やがて市外村へもこのフレが廻ることだろうと思うが万全を期す方法はなかなかない。その第一は全国の主要河川を大改修して、いかに増水しても被害の起らぬようにすることである。政府は五カ年計画で実施する計画はあるが何年も前から被害を受けた河川はそのまま、流失した橋は仮橋のままとなつている今日、いまさら五カ年計画でもあるまい。建設省の調べによると年々三千億からの被害を受けている。このような莫大な金を河川改修工事に使つたら、どんなにか有効であると思う。三千億の被害を受けたつもりで、この金を工事に使うことである。そして思い切つて永久策を実施することにある。ところが予算その他のため、一部前の工事をやつているので、工事をやるあとから被害を受けるというイタチごつこが現状である。これではいくら金を出しても水にあわである。

政府の防水対策といつても、市町村に防水対策本部をつくりそしていざという場合に防水出来るような資材と人間とを備えておくという心細い方法である。毎年利根川のドテで行われる防水訓練などをみていると、川にクイを打つたり、砂を俵につめ込む。それをワツシヨイワツシヨイかついで現場へ行く、堤の強化工事をやつて水の来るのを防ぐ作業をくり返している。かかる非化学的なものをよくもやつて、これでよいと考えているお役人の頭のほどを疑いたい。もつと化学的なそしてすばやくやる方法はあるだろう。

建設機械なども最近は優秀なものが出来ている。これらを動員するなどの方法もあろう。ゴムのボートも使用したりして人間のみの力に頼つているのは、これも予算の関係であろうが、小さい被害ならば土俵程度でもよいかも知れないが、大きな水力に対しては土俵の百や二百で完全に防ぐ方法は出来まい。また現在までその効果はなかつたはずである。

水の被害を予想してもつと大きな計画も必要であろうが、これに対する国民の観念も再教育の必要があるようだ。野次馬的な人々が多いことなどその一つである。水害は実にこわい。ない方が一番よろしいのだ。われらはそれを大いに希望しているが、現在ではその方法は出来ないものだろうか。

仲見世薬局
平市・電話三、八六六

お天気
「今晩」北寄りの風くもり、一時霧雨。
「明日」北東の風くもり、午後から時々雨。
「海上」今晩多少風波ある程度、明日は風波ある、朝晩見通し悪い

### 磐女の弁論大会入賞者

磐女高校では十六日午後一時から同校講堂に一千四百人の全生徒が集まり、弁論大会とスピーキング(英語)大会を開き、二十三人の弁士が熱弁をふるつた結果次の弁士が入賞した。

▼弁論(日本語)①白石順子(一年)=愛と汗と②渡辺かおる(二年)=協力することの美しさ③横浜ひろ子(二年)=磐女生の生活態度に思う▼弁論(英語)①林香奈子(一年)=狼と小羊とキャベツ②佐々木加代子(一年)=私の友人③菅波雅子(三年)=女性に対する近代礼儀。

# 職員の給与を引上げ
## 20日の議会で審議
磐城

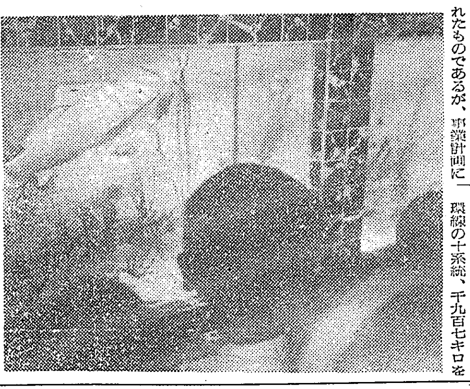
磐城市議会は二十日から四日間の日程で開き①市職員給与、勤務時間その他施設などに関する条例一部改正②市上水道条例の一部改正—など十二議案と報告一件を審議する。とくに職員給与に関しては他の四市の職員給与と比べ低いので三十才になつても結婚できないというもので、これを引上げるほか議員と部、課長などの推選で入つた者が優先的に高給にありついている不公平を是正して欲しいと市職組から請願されていたもので、この問題をめぐり相当の波乱が予想される。

### 西武の中元特別展示会

西武デパート平店では、中元御贈答品特別展示会を十九日から二十二日までいわき民報ホールで開いている。

## 学校に水族館
### 平一小、永野さんらの寄附で

平第一小学校では情操教育の一環として去る五日から水族館の建設に着工していたが、十七日立派に完成した。この水族館は延長二米巾八十センチ、高さ五十センチのもので、工費は市当局競輪課から四万円(昨年の黒字から)の寄付と同校PTA永野孝夫会長らの援助で工費五万円をかけて造つたもの。この水族館には白鯉と金魚がスイスイと泳ぎ真夏を思わせる暑さに教員はじめ児童らは水族館の前で"魚は暑さしらずで云いなあー"とぼやついている。



【写真は完成した水族館】

### 北海道の男盗みを働く

平署は北海道十勝国河東郡鹿追村生れ住居不定、無職戒井喜兵衛(三七)を盗みの疑いで捕えた。調べによると同人は五月七日夜七時ごろ、北海道帯広市西一南十丁目五飲食店はげ天こと矢野省六方女中、堀川径子さん(三二)が持つていた北海道相互銀行帯広支店預立二万八千三百二十八円入りの普通預金通帳を盗み、印鑑を偽造し同銀行から二万八千円を払いもどしたほか、五月初旬から六月末で北海道、福島、茨城、千葉などをまたにかけ、七件二万七千円相当の衣類、現金などを盗んでいたもの。

# ブルトーザーの下敷
## 綱が切れ中島さん重傷

十九日午前八時ごろ三和村差塩字堀添地内で棚倉営林署中島三郎さん(三〇)の運転するブルトーザー(五トン)が、村道工事を終つて帰るためトラックに積込み中、綱が切れて転落、このため中島さんは頭、足などに約一カ月の打撲傷を負つた。

## じやんがら踊りが入賞
### 全国郷土芸能大会に

日専連主催の全国郷土芸能大会は十六日東京都国立競技場で二十三チームが参加して開かれたが、平市専門店会代表として出場した常磐交通「女子じやんがら念仏踊り」が日本電波塔賞を獲得した。この入賞は石城地区で初めてのもの

【写真は入賞のテレビ塔トロフィー】

### 寄生虫検査に良い成績

平第二小学校(湯山啓二校長)では、去る十五日から十七日までの三日間、同校児童一千七百八人の寄生虫卵の検査を平保健所の協力で行つたところ、僅か七・六パーセントの百三十二人が陽性であることが判つた。市内では良い成績だけに、湯山校長らは寄生虫卵の少なくなつたことは、学期別に一辺の虫くだしをのませること、家庭でも定期を通じて虫くだしを服用させていること、食前に手洗いを進める、爪の検査をすることなどをあげている。以前は磐女高校の二〇・八%が最も良い成績であつたが、平二小校の七・六%という成績は珍らしいと平保健所では語つている。

# 梨の袋かけはいまが盛り
## 白い花が咲いたよう

写真梨の袋かけにせわしい娘さん

○…白い花が咲きほこつていたのもついこのあいだ。と思つていた石城地方の梨畑も、もう袋かけにせわしく手を動かす娘たちの姿が見られる。第一回目の袋かけは五月下旬、いまは二回目で最盛期。農村のアルバイト娘たちはコーラスを交で、いかにも楽しそうだ。

○…袋かけは早い人で一日三千枚か三千三百枚。遅い人でも二千五百枚はかけ、その手さばきは神技と思えるほどの早さ。一本の梨の木で大きいのは八百枚、小さいのでも四百枚はかかるという。袋は一枚三十五銭というから、一人で九百円もかける勘定になる。

○…袋のなかにふつくらとした香りの梨が実るのは九月。この地方から八万キロが八十貨車に積込まれて東京の市場に出荷される。地元消費も大きく二万キロ、強い真夏の日射が過ぎるころにはあまずつぱい独得な味が果物ファンの舌をとろかすことだろう。

## 23日にスト賛否投票
# 超勤制限反対の常労

超過勤務制限反対で斗争を続けている常磐炭砿労組(菊地勇組合長)は、十八日午後から戦術委員会を開き、今後の斗争方針などを協議したが、二十日まで会社がおれなかつた場合は二十三日にスト賛否投票を行い、二十六日一番方から四十八時間ストに入ることを決めた。同砿ではすでに各職場ごと斗争を行つており、解決した職場と未解決の職場があるため、今後の日程としては二十日以降本部は、各職場の協議事項を鉱業所交渉に移し、未解決職場の解決を促進する。二十一日は日給夫、直接夫の両代表者会議を開き、斗争の統一と今後の賃金配分に対する会社の考え方を解明して、斗争推進の強化を図る。二十三日は斗争強化を図る立場からスト賛否投票を行う。未解決職場が残る場合は、二十六日から全山ストを以つて対抗する。このため超勤斗争は重大化して来たので、会社との組合業務は一切停止して斗争推進にあたることなどを決めた。

# 理事長などを選任
## 磐城農共組の総代会

磐城市農業共済組合の総代会は十六日、市役所会議室に開き理事、監事を次のように決めた。

**泉地区**　(理事)佐藤楢兵衛、小野重一、阿部東郷(監事)江尻利雄

**小名浜地区**　(理事)長瀬彦馬、村上重一(監事)石井晴平

**渡辺地区**　(理事)高木勇(監事)安藤力

**鹿島地区**　(理事)草野道春、荒川恒雄

**江名地区**　(理事)作山[illegible]作、渡辺文章

なお理事組合長は近く理事の互選で選出する。

慶弔録 19日

【平市】「出生」▼永山育生(堂の前十の二三郎長男)▼鈴木隆博(中神谷瀬戸信博長男)▼津田香(月見町一三昭好長女)▼二面真理(材木町一一典勝長女)▼鈴木節子(四ツ波三反田五〇利勝二女)▼和田[illegible]信(長橋町一[illegible]一長女)「婚姻」▼細川富雄(才槌小路二〇隆知四男)と明智絹代(下平窪笹ノ田六七源七三女)「死亡」▼鈴木徳三郎(七八)(堤ノ内一二一隆父)▼鴻沼シノ(七七)(大越彦肝母)「婚姻」▼馬目隆雄(紺屋町二九ヨシ三男)と林道子(山梨県白州富秋三女)

【内郷市】「婚姻」▼斉藤忠(宮町代一一三)と高橋佐知子(東京都荒川区日暮里町二の一六)「出生」▼早川真理子(前田三一昭三二女)▼細井稔(前田三一定夫長男)▼木村公子(御殿一松男三男)▼菊池新一(蛭子二一敏雄長男)▼羽田洋子(浜井場一勝一二女)

### 小名浜銀座納税組合の総会

磐城市の小名浜銀座納税貯蓄組合の総会は二十三日午後一時から市内、常陽銀行小名浜支店で開く。

## 常磐郵便局長に須藤氏
### 仙台郵政局辞令

◇気仙沼郵便局長(常磐局長)助川寅之助◇常磐郵便局長(東京郵政人事部第一給与係長)須藤秀男◇平郵便局庶務課長(平局会計課長)小名道雄◇平郵便局会計課長(三春局庶務会計課長)阿部茂雄◇平郵便局郵便課長(原町局郵便課長)狩野勝◇原町郵便局郵便課長(小名浜局郵便課長)木村正◇小名浜郵便局郵便課長(福島局郵便課々長代理)大河内賀彦◇常磐郵便局郵便課長(相馬局郵便課長)目黒良二郎◇福島郵便局監査課長(平局貯金課長)大和田彦蔵◇須賀川郵便局貯金課長(常磐局貯金保険課長)永山秀明◇常磐郵便局貯金保険課長(小名局貯金保険課長)村上力◇小名浜郵便局貯金保険課長(平局庶務課長代理)松本積◇平郵便局勤務(平局郵便課長)飯村茂◇福島県久之浜郵便局長(平局庶務課長)阿部清吾◇福島県新鶴郵便局長(常磐局郵便課長)猪股幸二。

### 高田茨城相互平支店長死去

株式会社茨城相互銀行平支店長高田市郎氏は十八日午前八時三十分狭心症のため死去した。享年四十八才。葬儀は六月二十日午後一時から平市旧城跡十八番地の自宅で神式により行う。

### 内郷署に感謝の手紙

十八日、内郷署に明るい手紙が届いた。手紙は磐城市小名浜第二小学校勤務の阿部武市さんから来たもので、手紙によると阿部さんは去る五月二十五日朝、バイクに乗つて出勤の途中、ギヤーチエンヂを落しているのを交通検問中の内郷署員、つた保男巡査に知らされ困つているところを同署員から自転車をかり、部品購入して無事遅刻することなく出勤することができたという感謝の手紙。

# 私有林の盗伐捕る
## 三輪車で逃げる途中

平署は十八日、双葉郡川内村上川内運送業遠藤富雄(三五)同字高田島木材搬出夫遠藤今朝吉(三七)出人村石住木炭搬出夫星喜八郎(三七)同日瑠佐久間謙二(三七)遠野町大平農業少年(一九)の五人を森林盗伐の疑いで逮捕した。

十八日午前零時ごろ川前村桐立地内で永山ミツさん(四七)所有山林内から杉立木百立方米、二万七千円相当を切り倒し、遠藤富雄所有の三輪車に積んで運搬中、内郷市御厩地内で職務質問にあい捕まつたもの。

## 魚菜市況

青果　(単価キロ当り)

| | |
|---|---|
| ▽キユウリ | 八―二〇 |
| ▽南瓜 | 三〇―四二 |
| ▽サヤ豆 | 二〇―四五 |
| ▽ウメ | 六〇―九〇 |
| ▽馬鈴薯 | 八―二五 |
| ▽タマナ | 一―一七 |
| ▽ニンジン(一束) | 七―一五 |
| ▽ホウレンソウ〃 | 六―一三 |
| ▽玉葱 | 七―一三 |
| ▽大根 | 三―一〇 |
| ▽インゲン | 六〇―八〇 |
| ▽ナス | 六五―九〇 |
| ▽イチゴ | 一三〇―二二〇 |
| ▽バナナ | 二二〇―二六〇 |
| ▽リンゴ(一箱) | 五五〇―九〇〇 |
| ▽ビワ〃 | 一七〇―二五〇 |
| ▽桃〃 | 一八〇―二四〇 |
| ▽桜桃(四キロ) | 五五〇―一二〇〇 |

## 余韻

平市の飯野八幡神社から桃山時代を裏づけるラク書きが発見され話題を集めている。この神社、従来の記録によると徳川の初期に再建されたことになつているが、このラク書きが本モノなら、それより六十年も前の桃山時代に再建されたことになり、国宝級になるという▼たかがとるに足らぬラク書き一つではあるが、とるに足らぬと言い切れないフシもある。同神社が慶長十九年に焼けてから再建するまでに六十年もかかつたということだ。神社仏閣が比較的隆盛を極めた時代に、到底考えられないとして郷土史研究家の間でも早くから疑問視されていた。この疑問がこんどのラク書きを発見したわけである。▼発見されたラク書きには「元和元年これを建つ」と書かれているそうだから、このラク書き年代によると焼けてから三年目には神社が再建された事になる。六十年もかかるのはおかしい、三年くらいなら常識だ。「これが本モノ」という声が出るのは当然だろう▼しかもこのラク書き「本モノ」と決まれば飯野八幡の建造は一夜にして六十年も昔にさかのぼると同時に、めずらしい桃山時代の建築として国宝級の存在になる。というのだから、神社や歴史家に限らず郷土にとつて大変なラク書である。できることならマゲて本モノにもしたいところだ▼果して歴史はラク書きから作り替えられるか。「ヒヨウタンから駒」ならぬ「ラク書きから国宝」がでるか、近日中には中央からその筋の専門家が来て調査するようだからいずれ答えも出よう。が、それにしても気をもませるラク書きである。八幡さまも気が気であるまい。

平支店長高田市郎　儀狭心症の為十八日午前八時三十分突然死去いたしました　茲に生前の御厚誼を深謝いたしまして謹んで御通知申上げます
追つて葬儀は来る六月二十日午後一時自宅に於て神式により告別式を相営みます
昭和三十四年六月十九日
平市旧城跡十八番地
喪主　妻　高田都貴
長男　高田晃
親戚総代　高田四郎
株式会社　茨城相互銀行

食卓にはいつも花と果物を
かれんなサクランボが豊富に出廻るようになりました。山梨や山形ものにくらべ福島産のものはやゝ小粒ですが、お値段はグツとお安くなります。
○さくらんぼ　百匁　二〇―三五円
○〃　一箱　一一五―一、一五〇円
○びわ　〃　二四〇―二七〇円
土曜特売牛ステーキ用一枚　三〇を二五円
藤越
平市
電3141番

山葉ピアノは世界第一流品
第四回　山葉ピアノ、オルガン展示即売会
6月20日より
6月24日まで
マルトモ　店頭で
平市四丁目　電話5011〜5018

内科
循環器科
胃腸科
呼吸器科
レントゲン科
小児科
佐藤内科医院
佐藤誠
平市研町十五の一(松ケ岡公園入口)電話四八七一

質
山一
平市紺小路
電四七六四

音に関する製品は
LPレコード・電蓄
ラジオ・テープレコダ・テレビ
HIFI総合専門店
平市
2丁目
フルヤマ

洗濯の御用命は――
一森洗染舎
晴雨に拘らず納品の厳守　お電話次第で直ちに参上
平市新川　TEL 4958

毎度有難う存じます
道楽亭主の臨時月給
グツト重いぞ　ボーナス　今年こそは　道楽やめて
待つてるあの子におみやげと　勤倹貯蓄で我が家に幸福
◎貴方の貯蓄は買物計画
呼んでる幸は菓子の丸正
△奉仕品二十日―二十三日迄
一、瓦せんべい　市価四〇〇匁　七〇円の品　五三円
一、パラキヤラメル　二〇〇個入　一二〇円特価中
常磐線一安い店
菓子の丸正
小売と卸の現金問屋　平市紺町(平館裏通り)電四六三三
◎朝六時―夜八時半迄営業

中華の味一番
平市東銀座　電二四一五

御神輿と太鼓
新調・修繕
佐藤太鼓店

広告で街に明るさ　人に微笑み
アドバルーンは
照都広告
平市菅根町二ノ一三
電話(平)四、九八一
男女
社員募集年令は問いません(履送)
広告、宣伝にてい身出来る方

平けいりん
6月後節20.21.22日
場外車券売場
福島市・郡山市
若松市・平市
発走11時30分　小雨決行
主催　平市

# テレビに食れるか
## 五月の入場者減る
## 観客、洋画から邦画に

平税務署では準常設を含む管内四十七映画館の五月中の興行成績について調べていたが、同月は連休にかかわらず昨年同期と比べ入場人員では一一・五%、税抜きの料金は一二・五%といずれも減少している。

入場人員では二十九万六千六百十七人、税抜きの料金は一千八百八十九万八千七百円、税額は四百十八万二千八百六十円であつた。

一カ月の入場人員を一館平均にすると六千三百三十一人となり、また一日平均すると二百三人となるが、これは準常設館十一を含めた数字で、実際には昨年同期を上回る成績のところもあつた。とくに邦画が最もよく、管内最高では一万九千八百四十七人が入場し、その売上げの純益が百七十万四千九百円で、一日平均でも六百三十人が入場していた。この数字は管内一日平均の二百三人の約三倍近い好成績をあげたことになる。洋画はあまり振わず最高が一万六千三百八十五人で、百四十八万二千円の収益だつた。

しかし、同じ常設館でも不況を反映して三日に一日だけの上映をしている館もみられ、準常設を下回る僅か三百二十七人、一万五千二百二十円の収益で終つているのもあつた。

# "明るいバス通学を"
## 高校バス自治会を結成

バス通学による事故防止と交通道徳を高めようとこのほど「石城地区高校バス通学自治会」が結成され、会長に山名除弘氏（磐高）が選出された。同会は各高校のバス通学生自治会組織を単位として構成、各路線に連絡協議会がおかれる。連絡協議会は本部、学校と連絡して❶バス待合中の風紀の粛正と秩序の維持❷車の直前、直後の横断禁止❸乗降車時の事故防止、乗車時の一列励行❹一般乗合に対するエチケツト❺車内公衆道徳の高揚❻非常時に対する善処❼不正乗車の絶滅❽余暇の善用などを行うというもの。役員は次のとおり

◇会長＝山名除弘（磐高）◇副会長＝四家武寛（小名浜）渋口暁（勿来高）◇常任委員＝千葉寛子（磐女）鈴木利明（平商）戸田喜八郎（平工）吉田孝子（四倉）沢田弘子（内高）村上昌弘（内高二部）上遠野孝一（湯本）斎藤一義（水産）蛭田ミチ子（磐農工）伊勢美恵子（磐一高）

# 収納は好調
## 五月の平市税

平市の三十三年度市税の五月末現在徴収成績がまとまつた。それによると調定額二億一千百二十八万六千円に対し九十八パーセントの二億七百五十万円を徴収したが、これは昨年より三・一パーセント上回り、さらに県下一という好成績なもので当局は最後の徴収に拍車をかけている。好調の原因は優良納税者の増加と納税組合の増強などがあげられている。地方税の内訳をみると現年度が九十八パーセント、過年度が九十四・五パーセント、滞納繰越が六十二・九パーセントで、たばこ消費税、電気ガス税、鉱産税、木材引取税、目的税、入場税などはいずれも百パーセントとなつている。

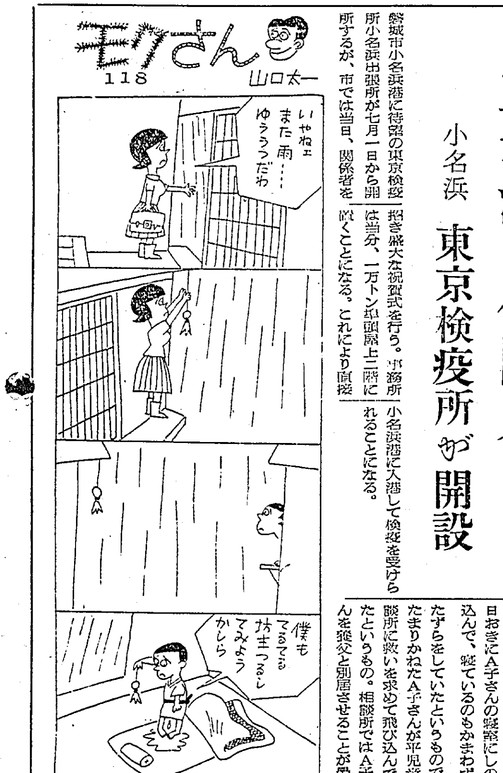
また市税徴収の地区別実績では高久地区が調定額四百五十三万五千円に対し四百五十万九千円で九十九・四パーセントをあげてトツプ、次いで神谷の九十七・三パーセント、最も悪いのが赤井地区の九十・六パーセントである。この高久地区は納税組合などによる税に対する認識が高まつていることが大きな原因である。地方税、市税地区別の徴収実績は次のとおり。（単位千円、カツコ内は調定額）

◆現年度二〇七、〇五〇（二一一、二八六）九八%❶普通税二〇七、〇三八（二一一、二七四）九八%❷法定普通税二〇六、四七一（二一〇、六九〇）九八%❸市民税七〇、六一五（七二、三五四）九七・六%❹固定資産税九〇、五三五（九二、九七七）九七・四%❺軽自動車税一、四五八（一、四九二）九九・七%❻たばこ消費税二四、九九三（同）一〇〇%❼電気ガス税一七、九一三（同）一〇〇%❽鉱山税八一六（同）一〇〇%❾木材取引税一四一（同）一〇〇%❿法定外普通税五六七（五八四）九七・一%⓫犬税五六七（五八四）九七・一%⓬目的税一二（同）一〇〇%⓭入場税一二（同）一〇〇%◆過年度二、七九〇（二、九五一）九四・五%◆滞納繰越一二、九六八（二〇、六四三）六二・八%◆国民健康保険税二一、一四（二三、七九三）八八・七%◆地区別市税徴収❶高久地区四、五〇九（四、五三五）九九・四%❷神谷五、三九二（五、五四四）九七・三%❸草間五、〇六五（五、二二九）九六・九%❹草野七、二二二（七、五三〇）九五・九%❺飯野六、二三八（六、六八四）九三・三%❻夏井四、一五一（四、四五二）九三・二%❼赤井四、四九七（四、九六三）九〇・六%

# 二流港に仲間入り
## 小名浜　東京検疫所が開設

磐城市小名浜港に待望の東京検疫所小名浜出張所が七月一日から開所するが、市では当日、関係者を招き盛大な祝賀式を行う。事務所は当分、一万トン埠頭屋上二階に置くことになる。これにより直接小名浜港に入港して検疫を受けられることになる。

モクさん　118　山口太一


いやねェ また雨…… ゆううつだわ
僕も てるてる坊主つるしてみようかしら

# 養女に手を出す父
## 増える変態性の犠牲者
### 平児童相談所が扱つた例から

最近、年少者の性遊戯、いいかえると桃色遊戯が多くなる傾向である。しかし、こういつた異性、あるいは同性の性遊戯に追い打ちをかけるように、少女にいたずらする変態性や、はては養子を手ごめにするなど人道も道徳も"へ"とも思つていない事件も目立つている。十五日、平児童相談所に救いを求めてきた一少女も、養父に手ごめにされ逃げ出してきた一つの例である。以下は同所が最近扱つた二つのケースから最近の性道徳が映画"氾濫"を地でゆくような事実を訴えたい。

（その一）　A子さん（一五）は、いま某市の中学校三年生に籍を置いている。某市で日雇をしている養父のTさん（四三）のところに養女としてきたのが七才のとき。その後A子さんは新しい両親のもとで、何んの心配もない毎日を過してきた。ところが、父が娘に対する愛情を脱したものに変つてきた。六月も終ろうとするある晩のこと、勉強に疲れたA子さんが床をのべ寝ようとしたところ、父が物も言わず入つてきた。養父の態度がただごとでないのに気付いていたが、逃げようにも逃げられず強引な養父にいたずらされてしまつた。その後も養父は妻の留守を見計つてはA子さんに言い寄り、身をもてあそんでいた。

A子さんも、この春から三年生に進んだが、養母は三月から胸を病み、悪化して某病院に入院してしまい、とうとう養父の毒牙にかかり、春を失つた。養父はその後三日おきにA子さんの寝室にしのび込んで、寝ているのもかまわずいたずらをしていたというもので、たまりかねたA子さんが平児童相談所に救いを求めて飛び込んできたというもの。相談所ではA子さんを養父と別居させることが最良の策だと断定し、一両日中にTさんを訪れることになるが、これは氷山の一角で、類似の事件が少なくないという。

（その二）　I子さん一家は東京から引越して、某市に居をかまえたのが数年前であつた。やがて中学校に進んだI子さんは、ある晩付近の不良にいたずらされた。その後、仲間の不良が次から次へとI子さんをおどし、「××との関係をバラすゾ」と、関係をせまつた。世間にさらされるのをおそれたI子さんは、いやいやながらこれらの不良に身をまかせ、その数が二十数人におよんだという。この二十数人のうち、合意のうちに身をまかせた男が数人もいるほど、I子さんの生活態度が荒れ、学校は休みがちとなり、淋病にかかつたことが平児童相談所に収容される動機となつた。いまは某教護園で厚生への道に励んでいるというが、I子さんの場合は、最初のいたずらから次から次へとイモヅル式に不良におかされるハメになり、最後には自から男を求めるようになつていつた。

これが中学生かと思われるようなケバケバしい身なりで、付近でも札つきの不良に落ちていつた。

「いくら更生しようとしても、街に不良がいる間は私のような人が絶えません。社会に出るのがおそろしい」と、これは収容された当時のI子さんの腹の底から訴えた憤りの言葉である。

## 果樹の品評会

石城郡蔬菜園芸連合会では二十九日に郡下の果樹品評会を開くが、その地区予選をかねた品評会が次の日程で行なわれる予定。二十二日から二十四日までは平市、二十六日は好間村、二十七日は四倉町。

# 市町村体育委員決る
## スポーツ振興のため

県のスポーツ五カ年計画によつて地域社会にスポーツ熱を盛りあげ、県の体育方針、計画、活動のあり方を正しく伝えようとする各市町村の体育委員が次のように決つた。なお、石城地区の体育振興委員には県教委石城出張所の風間覚雄、平二小の横須賀俊一の両氏が推せんされている。各市町村体育委員の顔振れは次の通り。

**平市**　成田末太郎（四八）＝磐女教諭、陸上　国井時雄（三三）＝国鉄職員、民踊　坂本忠一（三六）＝国鉄職員、卓球　菅波ミノル（四九）＝平二中教諭、ダンス　山名除敏（三一）＝高久小教諭、体操　田中英男（四〇）＝商業、ラグビー　石山一治（五三）＝市議、バスケツト　鈴木忠正（七三）＝剣道　根本武雄（五三）＝旅館業、庭球　矢野治一（三九）＝団体役員、野球

**勿来市**　樋田昌男（五四）＝勿来事務局、野、排、卓球　佐川武夫（四七）＝勿来一中校長、陸上全般　古川洋一（三七）＝商業、陸上　小林良吉（三四）＝商業、陸上、排球　赤津進（三六）＝商業、野球　赤津勝二（四二）＝整骨師、柔道　秋元昌明（三五）＝山田中教ゆ、陸上

**磐城市**　木田谷平（五四）＝市議、陸上　志賀昭太郎（三〇）＝小名一中教ゆ、陸上　菅原照男（三二）＝会社員、剣道　水野順平（三八）＝商業、野球　吉田勇二（四二）＝公民館主事、テニス　鈴木一平（三八）＝郵便局長、柔道　四家敬幸（三九）＝商業、野球

**常磐市**　鈴木武雄（四七）＝磐崎中校長、体操　丹羽彪（三九）＝湯本高教ゆ、剣道　佐瀬誠（三六）＝市議、野球　佐藤ゆずる（四二）＝会社員、庭球　永山酉三（三八）＝体操　森一夫（三六）＝会社員、フオークダンス　今井淑郎（四〇）＝区長、野球

**四倉町**　菅波勇（五七）＝磐女P会長、陸上　石井政男（五三）＝農業、柔道　草野仁（四九）＝四倉小校長、陸上　草野哲（四二）＝旅館業、陸上　渡辺金一郎（四〇）＝町議、柔道

**小川町**　大平一（三三）＝町議、野球　佐藤敏夫（三九）＝体協理事、マラソン　大楽治男（三二）＝教員、バスケツト

**好間村**　丹羽七郎（四四）＝会社員、競技全般　道山済治（三三）＝会社員、同　萩原三男（三三）＝国鉄職員、同　安斎秀雄（三八）＝会社員、同　若松善男（三五）＝好間中教諭

**三和村**　佐藤隆丸（五六）＝神官　熊谷一郎（三八）＝農業　阿部信（三五）＝同　斎藤芳文（三三）＝同　岡野敏美（三六）＝同　小平七郎（三七）＝同

**川前村**　伊藤豊（三〇）＝川前中教諭、野球　矢内孫次（三五）＝桶売中教諭、野球　池田浩巳（三〇）＝教育委員、剣道

**田人村**　緑川秀文（四九）＝村議、競技全般　蛭田嗣郎（三〇）＝農業、同　蛭田礼三（四三）＝郵便局長、同

## 成人学級に孔版科新設

勿来市植田公民館は成人学級の学課に孔版科を設け、二十二日から七月十日まで毎週月、火、水、金の四日法師浜良先生を招き開講することになつた。開講時間は午後五時三十分から七時まで場所は植田公民館。

## 円盤の渡辺さんら出場
### 東北陸上競技に

東北陸上競技大会は二十、二十一日、仙台市宮城ノ原競技場で開かれるが、磐女高校から次の三人が出場する。▼円盤投げ、砲丸投げ、渡辺志奈子（三年）▼ヤリ投げ、根本英代子▼走巾跳、阿部悦子

# 良い子たちを表彰
## 好間の中野君ら
### 平地区防犯協会

平地区防犯団体連合会では二十三日午後一時から平署会議室で総会を開き、三十四年度予算、事業計画などを協議、席上今年度防犯功労者、善行少年の表彰を行う。表彰者次のとおり。

◇好間中三年中野健次（一四）好間一小六年中野好行（一三）同別府伝道（一三）同安斎司（一三）同四年川会功（一〇）同二宮伝（一〇）＝六人はさる五月三日平市赤井字畑子沢地内に発生した山火事を早期発見これを消しとめたため大事にいたらなかつたもの。

◇平二中二年岩田耕平君（一三）＝中学に入ると同時に同級生で体の不自由な友人、平市鎌田五一佐藤有三君をたすけ毎日学校行き帰りにはカバンを持つてやつたり、おぶつてやつたりしているもので他の模範生である。

◇好間村上好間字南町三六金成昌明さん（三四）＝昨年防犯映画会開催ごと三十数回にわたり映写技師として手だすけ奉仕にあたつていたもの。

◇平市上神谷字下三七吉田けい重（四三）同字上一五森山襄男（五八）同字中一七古市武夫（四四）同字上四須藤市郎（五〇）＝四氏は昨年九月上神谷防犯協会を結成以来、積極的に防犯診断、防犯映画会幻灯会などを催し、犯罪防止に大きな成果をおさめたものである。

# 涼を呼ぶ冷水機
## 「鈴藤」お客さんにサービス

【写真は人気を呼ぶ噴水器】

平市三丁目衣類のデパート、鈴藤（社長鈴木藤太郎氏）に涼を呼ぶウオーター、クーラーがお目見得した。水道のジヤロとウオータ、クーラーを結び、ボタンを押すだけで冷い水が噴水となつて出る仕かけ。大きさは高さ一・二メートル巾四十センチ四方で、外観は電気洗たく機に似ており、時価八万円もするが、平市内でははじめてのもの。

## NHK第1【今晩の放送】ラジオ福島

| NHK第1 | | ラジオ福島 |
|---|---|---|
| 05 子供の時間<br>25 一丁目一番地 | ⑥ | 10 まぼろし探偵<br>45 音楽の小箱 |
| 15 録音ニュース<br>30 浪花演芸会 | ⑦ | 15 中合アワー<br>30 歌のカレンダー |
| 02 ここはどこでしよう<br>30 輝くステージ | ⑧ | 00 素人歌合戦 50 龍角散スイートメロデイー |
| 00 きようのニユースから<br>35 生活のうた | ⑨ | 00 浪曲歌合戦<br>30森繁のラジオロマネスク |
| 10 放送劇 | ⑩ | 05 連続浪曲<br>30 マーキユリーアワー |
| 10 趣味の手帳<br>40 夢のハーモニー | ⑪ | 05 時事解説<br>25ミツドナイトコンサート |

## NHKテレビ

| | | | |
|---|---|---|---|
| ⑥ | 00 漫画「ねずみの音楽」<br>35 スポーツグラフ | ⑧ | 00 隣りも隣り<br>30 こぐま物語 |
| ⑦ | 15 バス通り裏<br>30 危険信号 | ⑨ | 00 テレビ劇場 |

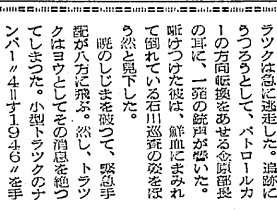
## NHK第1【明朝の放送】ラジオ福島

| NHK第1 | | ラジオ福島 |
|---|---|---|
| 05 私を作つた人と時<br>15 月給制の農家 | 5 | 30 録音風物誌<br>45 朝の教養 |
| 15 あぜ道だより<br>50 私達の言葉 | 6 | 10 農家の手帖<br>35 スワローメロデイー |
| 15 三宅島の朝<br>40 海外特派員報告 | 7 | 10 仁丹一粒エチケツト<br>35 スーパーメロデイー |
| 05 ベートーベン交響曲<br>45 うたのおばさん | 8 | 10 ご気嫌いかが<br>55 朝のハーモニー |
| 10 涼しい部屋を<br>35 メロデイーにのせて | 9 | 05陽気な山彦さん 15ウツカリ夫人とチヤツカリ夫人 |

警視庁物語

# 「一〇八号車」
## 観衆を引きこむスリル

映画　東映



物語＝濃い朝もやの中に、その巨大な姿を黒々と浮ばせる大東京の夜明け―人々はまだ平和な眠りの中にひつそりと沈んでいる。

だが、この時刻にも全都に散在する警視庁パトロールカーは突発する犯罪に備えて休みなく活動している。"警視一〇八号"を運転する石川巡査と金原巡査部長とある横町に停つている小型トラツクに眼をとめ、刑事特有のカンを鋭く働かせた。

不審をいだいて飛びうつつた石川巡査を乗せたまま、そのトラツクは急に逃走した。追跡にうつろうとして、パトロールカーの方向転換をあせる金原部長の耳に、一発の銃声が響いた。駆けつけた彼は、鮮血にまみれて倒れている石川巡査の姿をぼう然と見下した。

暁のしじまを破つて、緊急手配が八方に飛ぶ。然し、トラツクはヨウとしてその消息を絶つてしまつた。小型トラツクのナンバー"4＝す1946"を手がかりに、警視庁捜査一課が動き出した。調査の結果、この車は先月の末、修理屋東都モーターズを通して、高山電機商会から堀和彦と名乗る人物に、即金で売られていたことが判明した。府中の運転免許台帳から同名の人物が二人浮び上つたが、いづれもアリバイがあつて白。今は唯一人、この謎の人物のメンを知つている東都モーターズの主人の協力を得て、人相写真を割り出すほかなかつた。

一方長田刑事の提案によつて若し、問題のナンバーのトラツクが交通違反を犯しているとすれば、その時の調書から車の所有者がわかるかも知れないと、二手に分れて全都の膨大な交通違反調書と取り組む事となつた。

朝――捜査本部の電話ベルがけたたましく鳴つた。受話器から流れる弾んだ声、木谷三造29才。スピード違反。遂にトラツクの所有者が山村刑事等の班により見つかつたのだ。

俄然色めき立つ捜査本部。直ちに木谷のアパートが急襲されたが木谷は既にいづれかに引越した後だつた。だが、彼の前科を洗つていた林刑事によつて、彼の仲間に金山五郎という男がいることがわかつた。

その頃、高山電機商会に例の小型トラツクの名義変更をしたいとハンコを貰いに来た男が、署に連行された。山西一郎と名乗るその男は、トラツクの出所については黙秘権を行使してガンとして口を割らない。しかし捜査主任の鋭い眼は彼のラバソールの靴底にそそがれていた。それは、今度の事件と、ほぼ同時刻に起つたトランジスター窃盗事件の現場にあつたものと同じ靴底なのだ。

## 校庭をきれいにしよう
### 長倉小P会で

常磐市長倉小学校のPTA会長、佐藤清一氏＝会員二百五十人＝ではさる十三日と十五日の両日、校舎の廻りをきれいに、通学道路も改良しようと品川白煉瓦湯本工場から炭ガラ（石炭カス）トラツク十五台の寄贈を受け、PTA婦人二百五十名の労力奉仕で、立派な通学道路が完成、児童たちは大喜びしている。

## 勿来市役所卓球部の役員決る

勿来市役所卓球部の役員は次のように決まつた。部長＝樋田昌男、監督＝根本安朗、マネージヤー＝大本昭三郎、主将＝熊田孝雄、コーチ＝幾田孝雄。

銘菓　[illegible]羊羹　平凡

今晩の映画

【平市】
★平館　二十三日迄　電[illegible]
六・四〇　危険なラブレター
七・五五　おじいちゃん
八・五〇　ハイ・ティーン
★平新東宝　二十三日迄　電[illegible]
七・〇〇　毒婦夜嵐お絹と天人お玉
八・二六　東支那海の女傑
★世界館　二十三日迄　電[illegible]
六・五〇　マンガ
七・〇〇　千羽鶴秘帖
八・三〇　いつか来た道
★東映劇場　二十三日迄　電[illegible]
六・〇五　暁の凱歌
七・一五　一〇八号車
八・三五　紅顔の密使
民劇　二十三日迄　電[illegible]
六・一六　首なし男
七・一元　国定忠治
八・四〇　遠州森の石松
★聚楽館　二十二日迄　電[illegible]
六・四一　晩鐘
八・四〇　静かなアメリカ人
★ひかり座　二十二日迄　電[illegible]
六・二〇　常夏の楽園サモア
七・〇〇　白い丘
八・〇五　最後の一人まで
【内郷市】
★磐映劇　二十三日迄
六・二〇　だから言つたじやないの
七・四〇　お早よう
九・〇〇　男が爆発する
【四倉】
★海盛座　十九日迄
六・四〇　旅姿ねずみ小僧
八・二〇　浜の慕情
★東宝　十九日迄
六・四〇　浜の慕情
八・二〇　旅姿ねずみ小僧
【勿来市】
▼植田館　二三日迄
単車で飛ばそう
ごめん遊ばせ花嫁先生
コタンの口笛
▼中央館　二一日迄
花は咲かず大会
月見草

パンは開花亭

割烹　湖畔　電話2637

大谷石　井上　平五　電二〇六六

# 祝常磐毎日創刊十周年

日鉄鉱業株式会社
八茎鉱業所
所長　西脇三樹雄
四倉町玉山菖蒲平
電話（山田小湊）一一・一三

衆議院議員
木村守江

四倉町役場
町長　鈴木常松
助役　西山徳一
収入役　酒井忠太

四倉町議会
議長　新妻常吉
副議長　片寄甚之丞
総務委員長　鈴木文夫
副委員長　根本智一郎
委員　古市寿平　山野辺誠　鈴木明　賀沢巖房　神谷祐
経済委員長　江口勇
副委員長　長谷川慎二郎
委員　小湊正　本田政栄　渡辺金一郎　西山直次
文教厚生委員長　山城浅治
副委員長　木村徳治
委員　大楽正司　鈴木治作　長谷川潤寿　吉田正直
土木委員長　吉田正
副委員長　早川祐次
委員　新妻政雄　長谷川芳太郎　片寄甚之丞　石井金重郎

四倉機船底曳網秋刀魚棒受網漁業協同組合
組合長理事　鈴木常松
専務理事　武文雄
電話、二四五・三七九・一六一番